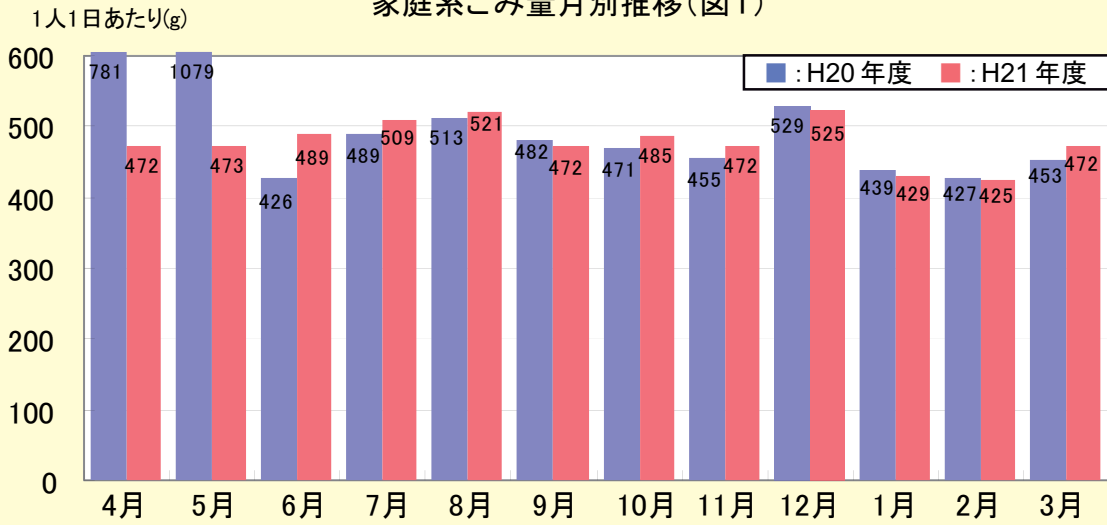
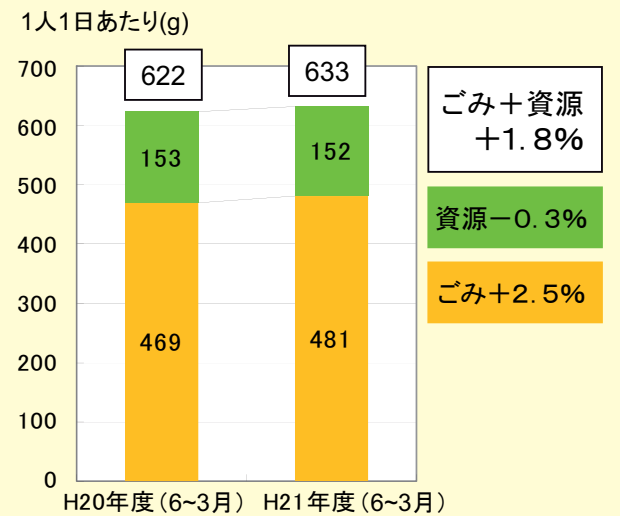


## ごみ量報告と減量推進月間について

家庭系ごみ量月別推移(図1)



家庭系1人1日あたり排出量の年度比較(図2)

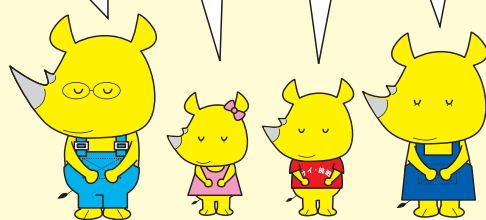


平成20年度の新制度開始後6月~3月と、平成21年度の同期間のごみ量を比較すると、平成21年度は2.5%の増加が見られます。また、資源は0.3%減少、ごみと資源の合計は1.8%増加しています。(図2)

月別で見ると、新制度開始直後6月のごみ量は、20年度と21年度で開きがありますが、その後は落ち着いています。(図1)

新制度開始から2年がたち、ごみが再び増えること(リバウンド)が懸念されています。そこで、6月を「ごみ減量・リサイクル推進月間」としてごみ減量に取り組みますので、市民の皆様、ちょっとした工夫でできるところから「ごみ減量」をお願いします。

ごみ減量・リサイクル推進月間にご協力ください



### ごみを減らすために ~例えば、お買物の時にひと工夫~

- こまめに食材チェック**  
冷蔵庫にある食品の在庫をチェックして、不要なものの購入を防ぎましょう。
- マイバッグを持参する**  
マイバッグをたんで携帯すれば、突然の買い物でも不要なレジ袋をもらわずに済みます。
- 店頭回収を利用する**  
多くのお店では店頭で資源回収を行っています。買い物のついでに利用しましょう。
- 愛着の持てるものを**  
家具、家電、雑貨などは長く使えるように、機能や耐久性、自分の好みを考えて。
- 詰め替えられるかチェック**  
詰め替え用商品があるものを選ぶのも、ごみの減量につながります。
- 包装材の少ないものを選ぶ**  
食品なら、ばら売り・量り売りの利用を。また、少人数世帯にはカット野菜も。

## 生ごみ水切り用具モニター募集!

生ごみの水切り用具を利用して、減量効果を重量で量っていただくモニターを募集いたします。生ごみは水分が多く、焼却のために多大なエネルギーが費やされています。そのため、生ごみの水切りはちょっとした努力で環境への大きな貢献となり得ます。市ではその効果を把握し、水切り運動を推進していきたいと考えていますので、ぜひご協力お願いいたします!

なお、モニターになっていただいた方には、利用した水切り用具をプレゼントいたします!

モニター期間：平成22年8月の1ヶ月間

利用用具：①生ごみカラット、②しぼりっ子、③水切りダイエツト の3種類



① 生ごみを新聞紙などに平たく包んで生ごみカラット(かご)に縦に入れて入れます。風通しの良い場所にして乾燥させます。



② 生ごみをしぼりっ子の中に入れて、押し水分を絞ります。



③ 三角コーナーやネットを利用し「水切りダイエツト」を押し当て、水を切ります。

モニター実施方法：毎日、生ごみを水切り前と水切り後にはかりで重量を量り、記録していただきます。(※計量後はごみとして排出。はかりは市でお貸しします。)

募集人数： 利用用具ごとに30名程度(応募多数の場合は抽選)

募集期間： 平成22年6月30日(水)まで

応募方法： 新潟市役所環境部廃棄物政策課企画係までご連絡ください。

TEL: (025) 226-1391 (平日 8:30 ~ 17:30)

FAX: (025) 230-0660 E-mail: haisei@city.niigata.lg.jp

※住所・氏名・電話番号・世帯人数・利用したい水切り用具をお伝えください。

★詳細は市のホームページをご覧ください。廃棄物政策課企画係へお問い合わせください。

ホームページ URL: <http://www.city.niigata.jp/info/haiki/gomi/monitor/monitor.html>

## 推進員研修会を行いました

5月中旬~6月上旬に、今年度のクリーンにいがた推進員を対象とした研修会を開催しました。

今年度の研修会では新たに、ごみと資源について学ぶ本「ごみダイエット読本」を使用しました。この本は推進員以外の方にもお渡ししています。ご希望の方は廃棄物政策課までお問い合わせください。

廃棄物政策課 TEL025-226-1391 (直通)

